

古紙類の回収をしています！

京都市では、燃えるごみの3分の1が紙ごみです。
リサイクルできる**古紙類の回収は、区役所で月2回実施しています。**

日 時 第1・3水曜日(祝日を除く) 午前9時～正午

場 所 山科区役所前広場

回収品目 古紙類(雑誌み・新聞・ダンボール)



これまでは、古着も回収していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりリサイクルの流通が著しく滞っております。**当面、古着については回収を一時停止します。**

ご不便をおかけいたしますが、不要となった古着類は、燃えるごみとして出さず、古着類の受入再開までご家庭で保管いただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

問合せ 山科エコまちステーション(☎366-0184)

詐欺被害の入口は固定電話から！

特殊詐欺被害のほとんどは、被害者が自宅の固定電話に出て犯人と話し、言葉巧みにだまされることで発生しています。

被害を防ぐためには、

- 警告メッセージが流れる防犯機能付き電話機を使用する
 - 在宅中でも留守番電話設定する
- といった方法が有効です



怪しい電話は一人で対応せず、家族や警察に相談してください！

問合せ 山科警察署(☎575-0110)

災害への備えはできていますか？

ローリングストックで自宅待機に備えましょう！



ローリングストックとは、普段から食べている食料品や日用品を少し多めに買って置き、使用したら買い足すことで、常に自宅に備蓄がある状態を作る考え方です。

食料品や飲料水だけでなく、トイレトーパーやカセットボンベ等の日用品もローリングストックしましょう！

問合せ 区総務・防災担当(☎592-3066)

子どもへの食事提供事業に補助金を交付しています！

新型コロナウイルス感染症の影響等により貧困等の困難を抱える子どもたちを支援するため、子ども食堂等(地域団体等が行う子どもへの食事提供)に対して補助金を交付しています。

申請期間 令和3年3月1日(月)まで

対象者 山科区を拠点に活動する団体・グループ

対象事業 山科区内で子どもたちに無料又は低価格で食事を提供する事業で令和2年度中に実施する事業

補助金額 1事業につき、上限10万円

問合せ やましな輝きプロジェクト実行委員会事務局
(区総務・防災担当 ☎592-3066)

申請方法等、詳細は区ホームページをご覧ください。

山科区 食事提供支援事業 検索



問合せ 区総務・防災担当(☎592-3066)

地域内循環バスにより高齢になっても安心して暮らせる、そんな小金塚は住民の主体的な取組で成り立っているようです。

(京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友二)



また、9月から2か月間、親子乗車体験を実施しています。これは地域内の小学生のいる世帯に体験乗車券を配布し、期間内に乗車してもらおうものです。小金塚自治連合会の玉木誠一会長は「長年要望してきてやっと実現したバスなので、ぜひ存続させたい。将来は山科駅まで直通させたい。」と語ります。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響で多くの活動が停止になる中、8月19日に第1回目の健康フェアを地域の入り口にあるコンビニの協力の開催しました。参加者42人のうち、ほとんどの方がバスを利用。血圧、骨密度、握力の測定による健康チェックや保健師による健康相談などが行われました。今後も毎月健康フェアを実施する予定です。

その悲願が実現し、平成31年3月から京阪バスが地域内を循環するバスを1日24便運行することになりました。ただ、これは試行運転であり、平均乗車人数が1便あたり8名という目標が設定されています。初年度の実績がその目標を下回ったので、このままでは存続が危ういと、小金塚自治連合会ではバス乗車のキャンペーンを企画しました。



第1回健康フェア

小金塚は京都市と大津市の境に位置し、1960年代から山を切り開いて開発された住宅地です。人口は約2500人、1100世帯。高齢化率は37%と京都市平均よりも高くなっています。この地域の公共交通は、山科駅と地域の入り口を結ぶ京阪バスのみで、地域内の道路が急こう配であることから特に高齢者の移動が困難となっており、小金塚自治連合会では地域内でのバス運行を長年要望

第69回
連載
区民活動きずなリレー

みんな「第2期山科区基本計画」に取り組もう！

将来も安心して暮らせる小金塚に
「悲願の地域内循環バスを守り育てる」